



南九州市

議会だより

—MINAMIKYUSHUCITY—

第40号

平成29年
11月6日



快晴の中開催された市民体育大会

【目次】

9月補正予算	P2
追加補正・条例・陳情	P4
お知らせ	P5
平成28年度決算認定	P6
一般質問	P8

12月定例会会期日程	P13
議会全員協議会	P14
「図書館管理について」調査報告	P15
市民の声・編集後記	P16

企業誘致促進補助金・ふるさと寄

一般会計補正額 3億1548万円

附金事業費などを補正 9月定例会

補正後予算総額 206億7886万円

総務費

企業立地推進事業費

3751万円

東京エンブラ商事鹿児島(株)と三豊機工(株)の誘致企業が施設を増設したことに對し、補助金を交付するもの。

問 補助金交付要件の内容は。

答 交付要件は、次のとおり。

- ①市と立地協定を締結していること。
- ②投下固定資産が2000万円以上あること。
- ③操業開始から3年以内に新規地元雇用者5人以上あること。など



増設された施設（東京エンブラ商事鹿児島（株））

9月定例会は8月31日から9月29日までの会期で開催され、一般会計補正予算や28年度決算認定などを審議しました。
議案はすべて可決し、陳情1件は不採択とし、決算8件を認定しました。

農林水産業費

中山間地域等直接支払推進事業費

41万円

川辺町軸屋地区が新規取組地区に認定されたことにより交付金を増額するもの。



軸屋地区の水田

産地パワーアップ事業費

3363万1千円

農作物の収益力向上のための施設整備等に補助するもの。

問 事業の内容は。

答 にんじん洗浄選別施設整備に係る補助金で、にんじん洗浄選別機、カメラ選別機、半自動秤量機を、(有)村青果が導入するもの。

多面的機能支払交付金事業費

586万6千円

新規に地域の農業施設等の保全管理に取り組み2活動組織が追加されたことによる交付金の増額。

問 新規の2組織は。
答 頤娃地域の中村環境保全会と川辺地域の小野・今田クリーン会の2組織である。

庁舎建設整備基金費

1億円

新庁舎の整備を図るため庁舎建設整備基金へ積立を行うもの。

問 基金残高は。

答 今回の補正分を含めて、5億1200万円となる。

ふるさと寄附金事業費

2014万5千円

ふるさと納税サイトのリニューアル、運営方法の変更、寄附金収入の増額見込みによるもの。

問 具体的な内容は。

答 寄附金増見込みによる返礼品送料の増額、自主運営による手数料の減額及び寄附金増見込みによる返礼品費用、ふるさと納税のコンサルティング業務委託の追加である。

民生費

放課後児童対策事業費

1120万6千円

国の基準単価の改正、放課後児童クラブ支援員キャリアアップ処遇改善事業の新設などによる増額。

問 補助金が支援員の処遇改善に反映されているかの確認方法は。

答 実績報告書で確認する。



田代児童クラブ（田代地区公民館）

パンとお茶の館（茶楽里）運営費

66万3千円

「茶楽里」の民間移管に係る経費を補正するもの。

問 具体的な内容は。

答 民間移管先選定委員会への出会謝礼、土地の有償譲渡に係る鑑定評価及び測量委託料、建物登記にかかる図面作成等の委託料である。



民間移管が予定されている茶楽里

土木費

市道単独整備事業費

326万8千円

瀬世松崎線などの市道整備に係る用地取得費および補償費の増額。

道路維持費

685万5千円

市道水垂桂仙山線のモルタル吹付け法面にひび割れ及び剥離が発生し危険な状況のため、工事費を増額するもの。

消防費

消防総務費（一般経費）

54万円

災害現場等の状況確認を迅速かつ確実に行うため、ドローンを購入するもの。

問 ドローン購入費の内容は。

答 ドローン1台とモニター1台で、免許講習経費を含んでいる。



災害現場等で活躍が期待されるドローン



高取地区海岸の松林



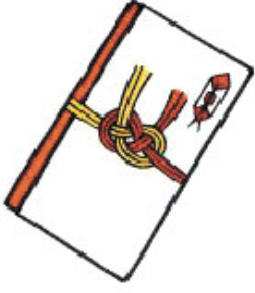
幅員が狭く見通しの悪い市道（瀬世松崎線）

政治家の寄付は禁止。有権者が求めることも禁止。

政治家が選挙区内の人に、
お金や物を送ることは、法律で禁止されています。
違反すると処罰されます。
また有権者が寄付を集めることも禁止されています。

寄付禁止のルールを守って、
明るい選挙を実現しましょう。



			
お歳暮やお年賀	入学祝・卒業祝	病気見舞い	秘書等が代理で出席する場合の結婚祝い
			
秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典	葬式の花輪・供花	落成式・開店祝の花輪	町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差入
		送らない! 求めない! 受け取らない!	
お祭りへの寄付や差入	地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入		

災害復旧費など7638万円を追加 9月追加補正

補正後一般会計総額 207億5524万円



崩落直後の様子

総務費
衆議院議員総選挙費
2428万1千円
衆議院解散に伴う衆議院議員総選挙の執行が10月に行われることから、これに要する経費を計上するもの。

災害復旧費
公共土木施設災害復旧費
3450万円
7月11日の地震により被災した市道本別府高田線の災害復旧を行うもの。



被災した颯娃農業者トレーニングセンター

文教施設災害復旧費
1760万円
台風18号により被災した颯娃農業者トレーニングセンター体育館の災害復旧を行うもの。

問 屋根防水シートの補修としては事業費が高いのでは。
答 過去2回、屋根が破損し補修したことから今回は金属板葺を予定している。

条例の改正・廃止

・南九州市森林馬事公苑条例を廃止

平成29年9月30日をもって条例を廃止。
跡地活用については、NPO法人「馬のかぞく」へ29年10月1日から5年間の無償貸し付けを予定しており、これまで行ってきた事業が引き継がれる。



森林馬事公苑

・南九州市個人情報保護条例の一部を改正

陳情／継続審査

若者も高齢者も安心できる
年金制度の実現を求める陳情書

提出者 全日本年金組合南九州支部
代表 芝原 仁

陳情／不採択

「共謀罪法」の廃止を求める陳情書

提出者 大倉野 博美 他1名

市民サービスは 維持し、健全財政を

一般会計歳出総額211億4525万円

〈特別会計決算状況〉

区 分	歳 入	歳 出
国民健康保険	71億5697万円	71億957万円
後期高齢者医療	5億3980万円	5億3883万円
介護保険	49億8361万円	48億5138万円
簡易水道	2億8424万円	2億7477万円
農業集落排水	8329万円	8055万円
公共下水道	1億4447万円	1億3622万円

〈企業会計決算状況〉

水 道 事 業	収 入	支 出
収益的収入・支出	4億5941万円	4億4026万円
資本的収入・支出	8440万円	2億9297万円

特別会計

国民健康保険事業

問 法定外繰入の減、保険率引き上げなどの変更があったが財政状況をどう評価しているか。

答 農業所得の減等により保険税は減収となった。財政運営は依然厳しい状況である。

介護保険事業

委員会から

高齢者の健康維持に資する重要な事業である。国の制度に基づき、事務事業が行われているが、上意下達とならないよう創意工夫して積極的に取り組むよう要請した。

簡易水道事業

問 平成29年度から水道事業に一本化されたが、地方債償還はどうなるか。

答 水道事業会計に引き継がれる。

農業集落排水事業 公共下水道事業

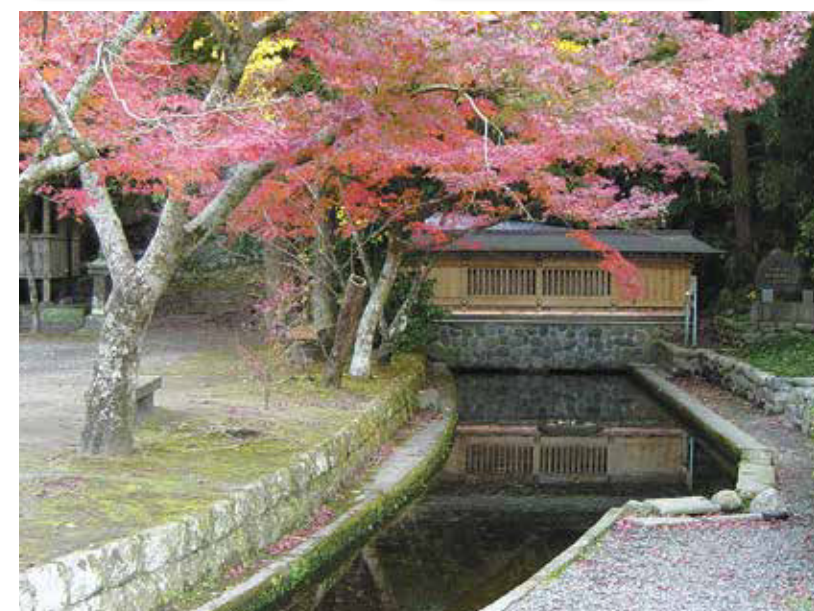
問 南九州市の生活排水処理対策の方針は。

答 集合処理型の浄化センター等を拡張する予定はない。個人処理型の合併処理浄化槽の設置を推進する。

水道事業

問 給水区域外からの申し込みがあった場合、配水管布設など給水に係る経費を軽減する考えは。

答 軽減措置を講じる考えはない。



上水道の水源となっている清水の湧水

問 水道料金の今後の見通しは。

答 平成23年度策定の水道ビジョンで示した試算とのずれが出ている。料金改定も含め、新たなビジョンを策定したい。

委員会から
合併して10年、水質に大きな問題はない。県平均よりも安価な水道使用料のもと、安定的に運営されており評価すべきである。今後も計画的に施設を更新し、水質維持に努めてほしい。

総務費

〈一般会計決算状況〉

歳 入 総 額	219 億 1095 万円
不 納 欠 損 額	1853 万円
収 入 未 済 額	10 億 6732 万円
歳 出 総 額	211 億 4525 万円
翌年度へ繰越額	1 億 5935 万円
実 質 収 支 額	6 億 635 万円

一般会計

バス対策事業費
5817万5千円

交通手段の確保を図るためのひまわりバス等の運行に要する経費。

問 利用者減少への対応は。

答 デマンド方式（自由乗降）への変更を含め、アンケート調査結果を反映させ検討したい。



校外学習でひまわりバスを利用（松山小）

衛生費

特定不妊治療費助成事業費
216万2千円

少子化対策の一環として、特定不妊治療に要する費用の一部を助成し、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図るもの。

問 事業実績と助成額は。

答 19組に助成し、現在まで9人に母子手帳を交付した。体外受精は2050万円、顕微授精で4060万円の費用がかかる。県が30万円、残額については市が20万円を限度に助成している。

農林水産業費

ふれあい農園管理運営費
286万3千円

顕佳市民ふれあい農園、川辺ふれあい農園の施設を活用し、都市農村交流を図る経費。

問 川辺ふれあい農園の利用状況は。また、顕佳市民ふれあい農園（茶園）を有機農業のできる農地として有効活用できないか。

答 川辺ふれあい農園の利用率は47.1%で減少傾向にある。顕佳市民ふれあい農園（茶園）の有機農業については検討していきたい。



川辺ふれあい農園

土木費

土木総務費・河川総務費
3284万8千円

道路及び河川の愛護作業等に係る経費。

問 愛護作業に取り組む自治会の高齢化による作業への影響は。

答 作業が困難になっている自治会もある。できる範囲で実施してもらいようお願いしている。

消防費

非常備消防費
8184万7千円

消防団員の報酬、費用弁償などに要する経費。

問 消防分団の統合についてはどういう現状か。

答 1地区1分団設置を目標としている。ほぼ統合されているが、顕佳別府地区を将来的には1分団にまとめていきたい。

市民の声を行政に問う

一般質問 10人が登壇

議会会議録はこちらで見ることができます。

- ◎地区公民館
- ◎市立図書館
- ◎南九州市ホームページ

グリーン・ツーリズム

専属の職員等の配置を

市長／人材の活用について検討する



内園 知恵子 議員

**子どもの貧困について
市の対策は**

市長／総合的に取り組む

内園 子どもの貧困率は先進国の中で高い水準にある。本市はどのような対策を考えているか。

市長 低所得世帯やひとり親世帯に対し、保育

料の軽減、医療費助成など総合的に取り組んでいる。
内園 支援を必要としている子どもは何人か。
福祉課長 育児放棄、家庭内暴力なども入れて58人である。
内園 家庭では十分な食事がとれない子どもたちにも食事を提供する「子ども食堂」が各地で立ち上がっている。市内で立ち上げたい人に支援する考えは。
市長 必要な情報提供、助言等の支援を行う。



農業体験をする修学旅行生

内園 農家レストラン・民泊の立ち上げ、民泊受入家庭の掘り起こし等、グリーン・ツーリズムをさらに推進していくために、専属の職員を配置する考えはないか。

市長 効果的に企画立案、調整を図るために、多彩なメニュー作りのできる人材、それを実行できる人材が必要と考える。
グリーン・ツーリズムに思い入れがあり、関係団体・個人とのネットワークや知識の豊富な人材の活用について検討する。

小学校再編

成果と課題を問う

教育長／要望をうけ、再編の協議を行った



日置 友幸 議員

別な事情など弾力的運用が必要だ。

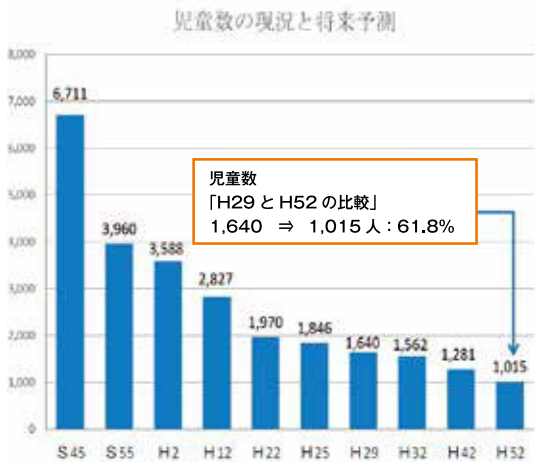
日置 複式学級を抱える学校の保護者アンケート結果をみると、再編の検討を希望する声が過半数となっている。地域や保護者の理解なき再編はあり得ないが、市が再編の全体構想を示し、地域

に投げかけをするとすれば、地域や保護者が選択肢を持てる投げかけをする必要がある。

や保護者と検討する場を設ける必要があると考えるが、見解を問う。

教育長 現在、南九州市小学校将来のあり方検討委員会を設置し、適正配置を検討している。スケジュールや行動計画も必要だろう。教育内容や教育方法も含めて将来のあり方を考えないといけない。

この二次元コードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ることで、学校の再編情報を市HPよりご覧いただけます。



この二次元コードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ることで、学校の再編情報を市HPよりご覧いただけます。

沈砂池

設置及び管理状況は

市長／ガイドライン等に基づき指導している



米満 孝二 議員

造が定められている。1ヘクタール以下については市のガイドラインに基づき指導している。

大川漁港のしゅんせつは
市長／継続して県に要望する

米満 大川漁港の土砂堆積が著しい。漁船の安心安全が保たれるべきと考えるが、県との協議をどのように進めていくか。
市長 大川漁港の土砂堆積については、これまで11回にわたり、県事業によりしゅんせつが行われた経緯がある。早期事業実施に向け県に対し継続して働きかけていく。

その他の質問
・別府温泉の有効活用

米満 畑かん地区に設置している沈砂池の設置及び管理状況を問う。
市長 南薩土地改良区が管理しており、土砂しゅんせつについては、毎年基本的な回数を定めて実施している。
米満 太陽光発電設置のため、山林が開発されている。沈砂池の設置基準などに基づいた市の対応は。
市長 1ヘクタール以上の開発については、県の「林地開発許可」によって、沈砂池の必要容量・構



大川漁港の土砂堆積

市立図書館

指定管理導入の再考を

市長／財政負担軽減と
サービス向上を図る



大倉野 由美子 議員

の導入で、財政負担軽減やサービスの向上が図られると考える。

就学援助制度の見直しを 教育長／検討中である

大倉野

国は、就学援

助制度の支給額と支給時期を見直した。市の対応を問う。

教育長

新入学用品費については、小学生2万470円を4万600円に、中学生2万3550円を4万7400円に増額した。中学生への支給は来年度から入学時支給を検討中である。

その他の質問

- ・核兵器禁止条約
- ・急傾斜地崩壊危険箇所
- ・木造住宅耐震補助



知覧図書館のある夢郷館

空き店舗活用

補助対象を拡げる考えは

市長／商工会と協議し検討する



吉永 賢三 議員

業所が活用しやすい補助制度は必要だと考えている。

県内他市を参考に南九州市商工会と協議しながら検討する。

商工観光課長

補助制度は5年経過して活用件数が減少してきている。制度の要綱など見直す時期であると考え、商工会と協議していく。

吉永

活用件数も年々減少しているが、対象の「空き店舗」を「空き店舗等」とし「商店街及び通り会」を「南九州市内」にするなど、幅広く活用できるように制度を見直す考えはないか。



知覧まち商店街

吉永

南九州市商店街活性化対策補助金交付要綱は、補助対象が空き店舗の活用に限定され、対象地域が商店街及び通り会となっている。補助事業の分析をし、広く商業の育成及び振興を図るために補助対象を拡げる考えはないか。

市長

空き店舗活用事業補助金は、「空き店舗」を活用する内容とし、H24年度から13事業所の活用があり、通り会に準ずる地域も適用してきた。商工業が活性化し、事

庁舎建設

国県機関との合同庁舎方式の検討を

市長／庁舎建設の議論に併せ財務局とも協議



西 次雄 議員

実施する考えは。市長 検討委員会で見があれば、検討したい。

畜産経営の基盤強化を

市長／飼養技術及び経営方針を活かせる対応を行う

市長 農業の振興なしには本市の発展はない。子

市長

子牛価格の高騰が肥育農家の経営を圧迫している状況にある。経営基盤の強化を図るために、子牛を確保する一貫経営は有効であるが、一貫経営への移行を一律に推進するのではなく、農家の声を聞きながら経営体の飼養技術及び経営方針を活かせる対応を行う。

企業誘致

市の体制強化を

市長／幅広い活動を展開する



浜田 茂久 議員

市は「産業・観光活動ビジョン」を示す必要がある。ビジョンには先進性と独自性が求められる。ビジョンの実施においては目標設定と誘致企業の絞り込みが必要だ。

市長

現在準備中のまちづくりの最上位計画である第2次総合計画において目標を定める。企業誘致は、農畜産物を活用した食品関連産業や成長が期待される製造業などの誘致活動を、観光分野の施策と一体的に推進していく。

また、まちづくりと調和し連動した取組みが重要となる。ビジョンの策定とその実施について市長の見解を問う。



牛舎（川辺町下山田）

企業誘致活動では、本市が自らの優位性を把握し、「戦略的に」企業に対して売り込むことが大切である。企業誘致体制の整備を行い、企業誘致担当部署を設置する考えはないか。

市長

企業の進出形態が多様化する中、従来の企業誘致だけではなく、南薩縦貫道開通の立地の優位性、農畜産物や地理的な地域特性、財産の有効活用等、本市の強みを活かした幅広い活動を展開する。



南九州市企業立地ガイド

水田農業用施設

整備計画を策定する考えは

市長／インフラ長寿命化計画を
基に施設整備を進める



大倉野 忠浩 議員

えは。市長 大規模な暗渠排水整備については、要望のある地域に対し、農地集積や集約化の条件整備などの協議を行い、事業に取り組めるよう努める。

大倉野 施設更新に伴い生じる受益者負担について、個人負担のない整備や負担率の軽減を国県に働きかける考えは。市長 受益者負担金は事業において特別な受益を受ける点からやむを得ないものと考えている。負担金を少しでも軽減する事前積立について理解が得られるよう説明する。併せて、補助率の高い事業の創設について、県を通じ国へ要望する。

大倉野 水田農業用施設の機能保全の重要性を認識し、今後の方針や支援策を盛り込んだ整備計画を策定する考えは。市長 農業用施設の用排水路等は、老朽化が進行している。食糧生産を支える重要なインフラであり、防災・減災の公益的な役割も果たしている。当面は、「土地改良施設インフラ長寿命化計画」を基に整備を進める。大倉野 高収益作物転換支援のため、暗渠排水施設の整備を促進する考



広がる水田と
たわわに実った稲穂

着地型観光

推進体制の整備を

市長／人材活用と活動拠点について
検討する



山下 つきみ 議員

検討する。活動拠点についても、人材活用の検討の中で必要性等考えていきたい。市長 着地型観光の産業化を図る考えは。家族、みる観光から体験・団体から個人・

滞在型へと旅行者の価値観が転換しており、着地型観光の推進は急務であると考えている。観光地帯をモデルとした県の地域振興推進事業を市全域に普及させることで地域内に新たな観光サービス需要が生まれ、雇用を生み定住を促す好循環となる。着地型観光ビジネスが自然と生まれてくるような環境の創出に取り組んでいく。

山下 本市のツーリズム協議会が実施している修学旅行生などの体験宿泊受け入れ事業をさらに充実させるため、活動拠点を設置し、専任者を配置する考えはないか。市長 都市間交流を進めていくうえで、効果的な企画立案ができる人材、それを実行できる人材の育成が必要なことから、グリーン・ツーリズムに思い入れがあり、ネットワークや知識が豊富な人材の活用についてさまざまな角度から総合的に



修学旅行生を迎える入村式

庁舎建設

実現可能か

市長／可能となるよう努力する



満留 秀昭 議員

かげ、28年度末で、約4億円の積み立てができた。国の機関との合同庁舎方式など、様々な建設費用工面の手法を検討し、建設を可能にする努力を

満留 多くの市民は新庁舎建設について十分に理解していないと思う。私は反対だが、決めた以上は市民に理解してもらう必要があると考えるが、見解を問う。市長 財政的なこともある。まだ時間があるので、市民の声を聞き、理解を求めている。その他の質問 ・職員提案制度

満留 本市の財政状況を鑑みて、庁舎建設は実現可能か。市長 職員350人収容の庁舎建設には約40億円の建設費用が必要であるとのことを受け、H24年度開催の「庁舎の在り方市民検討委員会」から、「次世代への負担をできるだけ軽減するため、毎年2億円程度の基金積み立てを行い、将来の新庁舎建設に備えるべき」との答申をいただいた。市として毎年1億円以上の積み立てを目標にか



現在の知覧庁舎

議会を傍聴してみませんか

次の議会は
12月6日(水)開会予定

*手続き簡単 本館2階で住所・氏名を書くだけ

12月定例会

12月6日	本会議 (開会)	補正予算等質疑・委員会付託、一般質問
7日	本会議	一般質問
8日	本会議	一般質問
11日	常任委員会	補正予算等審査
18日	本会議	補正予算等採決
25日	本会議 (閉会)	

◆議会中継◆ インターネット配信または各庁舎ロビーでご覧いただけます。

図書館管理について

文教厚生常任委員会は、図書館の管理について独自に調査を行いました。その結果を報告します。

Q. なぜ調べようと思ったの？

A. 今年の6月に「図書館の運営を民間の方にお願いしてもいいよ」という決まり（条例）ができました。それに伴い、「民間の方にお願いしても大丈夫なの」などいろいろな意見が出たので、「じゃあ調べてみよう」ということになりました。

Q. いつどこで調査をしたの？

A. 今年の7月～8月にかけて調査をしました。
本市の図書館はもちろん、指宿市、枕崎市、南さつま市の図書館に出向き、お話を伺いました。

Q. なにがわかったの？

A. 調査に伺った3市とも、民間にお願いした主な理由は、次の2点です。
①コストを削減するため
②民間の力を活かしサービスを向上させるため
実際3市とも、民間に任せた結果、図書館の管理運営費は削減されていました。
また枕崎市の「貸し出しソフト導入」や、南さつま市の「開館時間延長」、指宿市の「図書館独自の取組み増加」など、サービスの向上が見られました。3市とも、デメリット（欠点など）は感じていないとのことでした。

提言

- ①指定管理者制度導入時期（民間に任せる時期）については、平成30年4月の導入を目指しているが、これにこだわることなく、慎重かつ十分な検討を行うこと。
- ②指定管理者（お願いする民間の方）との円滑な連携が図られるよう、市の体制を確保すること。
- ③歴史的な資料については、確かな管理を継続するために十分な引継ぎを行うこと。
- ④赤ちゃん絵本プレゼント、セカンドブックプレゼント、読書のつどいの3事業と、現在行っている講座についても、自主事業として継続できるよう努めること。
- ⑤サービスの維持向上及び従事者の意欲を高めるための配慮を行うこと。

議会全員協議会

◆行政当局より議会へ説明のあった件◆

財政計画の策定 どうなる財政!?

9月29日 市財政課から議会に対して財政計画の策定について説明がありました。

市が財政の将来試算を行ったところ、このままでは平成34年度予算が組めなくなる恐れがあることがわかりました。持続可能なまちづくりの実現に向けて、市は平成30年から39年までの10年間を見据えた財政計画を策定しました。

図は、市の財政調整基金（財源不足の時に使う貯金）の試算です。棒グラフが現状のままの試算、折れ線グラフが財政計画を実施した場合の試算です。

財政計画の全文は、インターネット上で公開予定です。



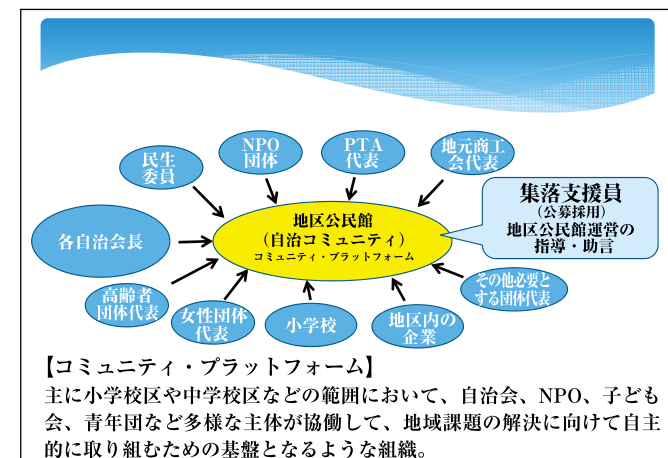
集落支援員と地域づくりを！

9月12日 企画課から議会に対して、地域課題の解決について説明がありました。

人口減などにより、地域の課題を地域で解決できないことが増えてきています。そこで市は、各地区で地域課題の解決に向けて、自主的に取り組むための組織づくりの手伝いをしたいと考えています。

この事業を「コミュニティ・プラットフォーム構築事業」と呼びます。

本年9月、市は地域課題の解決を手伝ってくれる「集落支援員」を公募しました。集落支援員は、応募によって定める「モデル地区」と連携し、地域づくりをすすめてもらう予定です。



市民の声



知覧町永里

山口 禎男

ガイドとしての喜びとその使命

平和を語り継ぐまち、哀しい歴史の特攻のまち、そして江戸時代から続く美しい庭園の武家屋敷のまち、こんな素晴らしい知覧のまちに私は心を惹かれ、名古屋から長崎を経て、2年前に、ここ知覧のまちに移り住むことができました。

しばらくの間、海外生活（カナダ及びスペイン）を試みましたが、帰国後に名古屋熱田神宮にて拝聴した平和会館初代館長板津忠正様の「生還した特攻兵」

の講演に大変感動致しました。

その出会いから翌年の知覧特攻基地戦没者慰霊祭に参列するようになりました。

慰霊祭に参列するたび、知覧への思いが強くなり、社会の役に立つことを願っていた矢先、市商工観光課のボランティアガイドに登録することで、その一歩を踏み出すことができました。

平和を語り継ぐ町として、尊い命を犠牲にした特攻兵の史実を忘れることはできません。

我が子のように慈愛に満ちた特攻の母と慕われた鳥濱トメさんの母心にも心を打たれます。

1036名の特攻隊員の供養をしながら、全国から訪れる観光客をはじめ、平和学習のため訪れる中学生、高校生に、「平和を願い、国を思い、家族を思い、自ら沖縄の海に散華し

た特攻兵の哀しい歴史」を語り継いでおります。

今日の平和は特攻兵の心からの叫びであり、「戦争は絶対起こしてはいけない」ことを特攻兵と同年齢である生徒たち、そして指導する立場の先生方にも強く訴えております。

少なくとも戦争経験者の一人として戦争の恐ろしさ、悲惨さを語り継ぐことが私たちがガイドとして大事な使命と考えております。

観光客の多くが戦後生まれです。戦跡巡りをする中で、ある特攻兵の悲しい話をしますと、私も心が入り観光客と共に涙を流すこともしばしばあります。

「またいつの日か必ず知覧に参ります。」

お帰りの際のこの言葉に私はガイドをしてほんとうに良かったと思います。そして、その喜びに一層これからも元氣いっぱい頑張りたいと思っております。

す。

結びにボランティアガイドとして私を指導してくださる市商工観光課、平和会館の職員の皆様、知識の収集に協力して下さる知覧図書館の皆様に心から感謝申し上げます。

平和を願いながら。

人事案件

◆人権擁護委員◆



汐満 美奈子 氏

川辺町平山

人権擁護委員は、市が議会の意見を求め、法務大臣に推薦します。

任期は、法務大臣が委嘱した日から3年間です。

編集後記

近頃の天気予報は当たらないとよく聞きます。

9月24日、晴れの予報の下、知覧小学校の運動会が開催されました。開会式が始まると同時に雨が降り出しました。小学生の皆さんが楽しみに待っていた運動会、一生懸命練習を頑張ってきたのにと思うと胸が痛みます。

開会式が終わる頃にはグラウンドもびしょびしょで、走れる状態ではありません。先生方の協議の結果、その日はダンスと応援合戦のみとなりました。子どもたちは、大雨の中びしょ濡れになりながら一生懸命頑張ってくれました。

残りの競技は、火曜日に実施され、雨の予報でしたが、素晴らしい運動会日和となりました。

科学の粋を集め、確率の高い天気予報を出してもらいたいものです。

(鮫島)

▼広報編集委員会

委員長 西 次雄
副委員長 鮫島 信行
委員 日置 友幸
大久保 太智
浜田 茂久
満留 秀昭



◎発行：鹿児島県南九州市議会
TEL 0993(83)2511

◎編集：議会広報編集委員会
FAX 0993(83)4658

◎発行責任者：蔵元 慎一

ホームページ <http://www.city.minamikyushu.lg.jp>